

J 企画（新学術環境）

企画分科会：近現代中国研究をめぐる新たな学術環境

座長：中村元哉（津田塾大学）

報告 1：河野正（学習院大学）

「農村社会史研究の新たな地平」

報告 2：相原佳之（東洋文庫）

「汪精衛文書の新たな地平」

報告 3：大澤肇（中部大学）

「近現代中国研究とデータベースの新たな地平」

コメンテーター：佐藤仁史（一橋大学）

セッション名に掲げたように、近現代中国研究をめぐる学術環境は、急速に変化している。各個人がそれぞれの研究分野の情報を日々更新し、新たな情報技術の習得に努力を重ねたとしても、限界を感じる瞬間があるのではないだろうか。それならば、たとえ基礎的な情報であったとしても、現状の新たな学術環境について、多くの研究者が情報を共有してもいいのではないだろうか。

もちろん、新たな学術環境の現状を確認すれば、「それでよし」というわけではない。ここから、それぞれの研究者がそれぞれの研究分野をどのように活性化して、発展させるのかがカギになる。

以上のような問題意識の下、本セッションは、下記の方々に報告をお願いした。この 3 報告ではカバーしきれない最新情報を参加者全員で共有しつつ、近現代中国研究の新たな発展の可能性について、議論できれば幸いである。